

核兵器のない平和で公正な世界のために

8月4日から3日間広島県で開催された原水禁2014世界大会に赤平市から2名の中学生とが参加し、そのときに感じた想いを紹介します。



中学生からのメッセージ



「戦争や核の
恐ろしさを学んで」
赤平中学校2年生
赤武田 葉さん

私は、赤平派遣団として、中央の中の上村さんと広島へ行き、たくさんの恐怖を実感してきました。広島に着き空港から出たら、湿度が高くとても驚きました。暑さよりも湿度の方がすごかったです。

まず最初に、折鶴平和行進に参加しました。平和を強く願う人がほとんどでした。そこで私は、核兵器や戦争はもうこの世界に必要な

いことだと強く思い、そして広島の人々と強く願いました。次に、被爆69周年原水禁禁止世界大会・広島大会に参加してきました。この場では、「核兵器をなくそう」と訴えたスピーチがたくさんでした。中でも心に残っているお話は、被爆された方の体験談でした。その方は、体は黒く焼け、はれ上がってしまいました。整形しようと決意しましたが、元の姿に戻ることはできませんでした。しかし、その方のお父さんは「顔に傷は残ってしまっただけ、生きることができて良かった。」と言ってくれたそうです。生きる勇気が出たそうです。そのお話を聞いて、私は自分がその立場だったら、どんな思いで生きてきたのだろうと、とても考えてしまいました。たくさんの戦争や核兵器の話聞いて、命の大切さがとても分かりました。2日目は、子ども慰霊祭に参加しました。たくさんの小中高生がスピーチで、平和を強く願っていました。私はこんなに強く平和を願ったことはありませんでした。この場に参加させてもらったことで、平和を願う気持ちがとても強くなりました。フィールドワークでは、平和公園内のいろいろなものを見て回りました。



原爆ドームを見たとき、崩れ落ちた壁などを見て、戦争の恐ろしさを知りました。次に、メッセージ・ヒロシマに参加しました。広島に来て友だちになった人と、踊ったり、平和について一緒に考えることができ、とても良い経験になりました。翌日3日目は、平和祈念式典に参加しました。この日は雨がたくさん降っていたので、話を聞いたたりするのは大変でした。この日の69年前、8月6日8時15分に自分のいる場所で原爆が落とされたかと思うと、とても恐ろしくなりました。この3日間の体験を通して、平和について考えることのなかった私が、たくさんの事を学び、平和や命の大切さを良く考えることができました。こんなに貴重な体験をありがとございました。これからも平和を強く願っていきます。



「平和への想い」

赤平中央中学校2年生
上村 真衣さん

私は8月4日から6日までの3日間、赤平派遣団として原水禁広島大会に参加し、戦争や平和・核兵器廃絶の問題などについて学んできました。

広島に着いてすぐ、折鶴平和行進に参加しましたが、残念ながら途中で雨で中止になってしまいました。

次に被爆69周年原水禁禁止世界大会に参加しました。そこでは実際に被爆した方などから色々なお話を直接聞くことができました。この世のものは思えぬ光景やおびただしい数の亡きがら…。

今もなお苦しみを続けている方々の思いを決して無駄にはしない。私たち若い世代が責任を持つて後世に語り継いでいかなければと強く感じました。

次の日、子ども慰霊祭では、私と近い世代の人たちが戦争や平和に対する思いを一所懸命にハキハキと発表していました。私が直接発言する機会はありませんでした。みんなの熱い思い

に強く共感しました。次にフィールドワークに参加しました。そこではたくさんの慰霊碑を、案内してくれた方のお話を聞きながら見学しました。

私はその中でも特に「韓国人原爆犠牲者慰霊碑」が印象に残りました。日本人被爆者が法の下に救済されているのに対し、韓国人はこうした恩恵を受けることができなかったそうです。「同じ被爆者なのに…」と何とも言えない複雑な気持ちになりました。

広島平和記念資料館では、原爆のせいで火傷を負った人々の写真や8時15分で止まった時計、ボロボロの子供服などが展示されていました。見ているうちにだんだん恐くなり、胸が一杯になりました。

8月6日の平和記念式典は、実に43年ぶりという雨の中で行われました。

平和記念公演にある原爆死没者慰霊碑には、「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませんから」と刻まれています。この言葉を私たち一人ひとりの胸に刻み、現在の平和な日本は戦争でという大きな犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはならないと思います。



市長と気軽にお話してみませんか。まちづくりに対するご意見やご提案などお聞かせください。

市長がおじゃましま〜す！



申込み・問合せ 企画調整係 ☎32-1834 FAX32-5033

目的	協働のまちづくりを推進するため、市長が市内で活動している団体・サークルのもとにおじゃまして、皆さんから赤平市のまちづくりについてのご意見、ご提言をいただき、市政に反映させることを目的としています。
対象団体	市内にある産業・福祉・教育・芸術文化・スポーツ・まちづくりなどの団体・グループ（営利を目的とせず、特定の宗教や政治思想に基づかない団体とします。）
開催日時	平成26年10月1日(水)から11月28日(金)までの期間（原則、土日祝日は除く）
募集期間	平成26年9月1日(月)から11月20日(水)まで
応募方法	指定の申込書に必要事項を記入して企画調整係へ提出してください。
その他	時間は1時間～1時間30分程度、懇談会の進行は希望される団体が主体となって行ってください。単に陳情、要望のみを目的としたものではなく、幅広く市民の関心と呼ぶテーマの懇談会とします。

プロVリーグ男子JTサンダーズの選手指導のもと、市内や近隣の中学生を対象としたバレーボール教室を開催します。

記念撮影会・サイン会開催



市制施行
60周年
記念事業

2014 JTサンダーズ バレーボール教室in赤平

観覧
無料

とき 9月8日(月)
14時30分～16時45分

ところ 総合体育館

問合せ 総合体育館 ☎33-7750

NEW FACE



MacSwan | sabel Marie 桃子さん

皆さんこんにちは！
新しい英語指導助手として小・中学
校で英語の授業を担当します。
「モモ」って呼んでください。

イギリスのロンドンから、8月6日に赤平市にやって来ました。イギリスでは、リーズ大学で歴史学を専攻していました。北海道へは十数年前の夏に観光に来たことがあります。住むのは初めてです。よろしくお願いします。

2年間英語指導助手として活躍されたケイトリンさんは、帰国し国際交流のアドバイザーとして大学に勤務されるとのことです。長い間ありがとうございました。

総合体育館の利用制限について

9月1日(月)～8日(月)の期間、総合体育館は、各種行事開催のため通常利用が制限されます。ご利用の際は下記の表をご覧ください。ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。



利用区分			アリーナ			サブアリーナ		
月	日	曜日	午前	午後	夜間	曜日	午前	午後
9	1	(月)	×	×	×	○	○	○
	2	(火)	×	×	×	○	×	×
	3	(水)	×	×	×	○	○	○
	4	(木)	×	×	×	○	○	○
	5	(金)	×	×	×	○	○	○
	6	(土)	×	○	○	○	○	○
	7	(日)	×	×	○	○	○	○
	8	(月)	×	×	○	○	○	○

問合せ 総合体育館 ☎33-7750